

## 2024 世界シニア、U23、U19 選手権（カナダ・セントキャサリンズ）ITO 参加報告

東京都ローイング協会所属  
国際審判員 山崎 佳奈子

### 【はじめに】

2024年8月18日（日）から8月25日（日）、カナダ・セントキャサリンズで開催された2024世界シニア、U23、U19選手権に International Technical Officials (ITO)として審判参加させていただきましたので、以下ご報告させていただきます。



### 【大会概要】

日時：2024年8月18日（日）～8月25日（日）

2023年8月19日（月）は悪天候のため中止

コース：ロイヤル・カナディアン・ヘンリー（ヘンリー）・ローイングコース

種目：＜シニア種目＞（10種目）

LW1x、LM1x、LW2-、LM2-、LW4x、LM4x、  
PR2W1x、PR2M1x、PR3W2-、PR3M2-

＜U23種目＞（22種目）

BW4+、BM4+、BLW1x、BLM1x、BLW2-、BLM2-、  
BLW4x、BLM4x、BW1x、BM1x、BW2-、BM2-、

BW2x、BM2x、BW4-、BM4-、BLW2x、BLM2x、BW4x、BM4x、BW8+、BM8+

＜U19種目＞（14種目）

JW4+、JM4+、JW1x、JM1x、JW2-、JM2-、J2Wx、JM2x、JW4-、JM4-、JW4x、JM4x、JW8+、JM8+  
（全46種目）

参加国：シニア 33ヶ国 57クルー 79人

U23 45ヶ国 215クルー 592人

U19 41ヶ国+1団体 160クルー 593人 参加国総数：72ヶ国+1団体

4年に1度、オリンピックイヤーのWR大会は別名「メガ・チャンピオンシップ」と呼ばれ、世界選手権の種目の中でオリンピック・パラリンピック種目に入らない種目と、U23、U19の種目を合わせたチャンピオンシップのため、通常の大会よりも多くの参加者・参加種目となりました。

### 【コース概要】

ナイアガラ滝に近いカナダオンタリオ州セントキャサリンズにある「ロイヤル・カナディアン・ヘンリー・ローイングコース」は1999年に世界選手権、2010年には世界マスターズ選手権が開催された歴史あるコースです。「ヘンリーガッタ」というとイギリスの「ヘンリー・ロイヤル・レガッタ」を思い出す方も多いかと

# 2024 World Rowing Senior, U23 and U19 Championships

と思いますが、ここカナダの「ロイヤル・カナディアン・ヘンリー・レガッタ」も今年で140回を迎える歴史あるレガッタだそうです。

## 【事前ミーティング】

Programme as of 7 August 2024 V.2

Saturday 17-Aug	Sunday 18-Aug	Monday 19-Aug	Tuesday 20-Aug	Wednesday 21-Aug	Thursday 22-Aug	Friday 23-Aug	Saturday 24-Aug	Sunday 25-Aug
10:00-12:00 1st Practice Starts	HEATS 9:30 BLW1k 9:35 BLW1k 9:40 BM1k 9:45 BM1k 9:50 BLM1k	HEATS 9:30 'BW4+ 9:35 'BM4+ 9:40 'BLM2- 9:45 'BLW4x 9:50 'BLM4x	HEATS 9:30 'PR3 M2- 9:35 'LW2- 9:40 'LM2- 9:45 'LM4x	SEMIS C/D 9:30 BM1k 9:35 BM1k 9:40 BM2- 9:45 BM2-	FINALS D 9:30 BM1k 9:35 BM2- 9:40 BM2- 9:45 BM2-	FINALS B 9:30 BLW1k 9:35 BLM1k 9:40 BW2x 9:45 BM2x 9:50 BW4- 9:55 BM4-	SEMIS C/D 9:30 JM2x 9:35 JM2x 9:40 JM1k 9:45 JM1k	FINALS D 9:30 JM2x 9:35 JM1k 9:40 JM1k 9:45 JM1k
12:30 Spares Races (Senior and Under 23)	9:57 BW2x 10:02 BW2x 10:07 BM2x 10:12 BM2x 10:17 BM2x 10:22 BW4- 10:27 BW4- 10:32 BW4- 10:37 BM4- 10:42 BM4- 10:47 BM4-	9:55 BW2- 10:00 BW2- 10:05 BM2- 10:10 BM2- 10:15 BM2- 10:20 BM2- 10:25 BW4x 10:30 BW4x 10:37 LW1k 10:42 LW1k 10:47 LW1k 10:52 LW1k 10:57 LW1k	REPS 9:52 BW2- 9:57 BM2- 10:02 BM2- 10:07 BM2- 10:12 BW4x 10:17 LW1k 10:22 Jw2x 10:27 Jw2x 10:32 JM2x 10:37 JM2x 10:42 JM2x 10:47 JM2x	HEATS 9:45 JM2- 9:50 BM4- 9:55 BM4x 10:00 BM1k 10:05 BM1k 10:10 JM4x 10:15 JM4x 10:20 Jw2x 10:25 Jw2x 10:30 Jw2x 10:35 Jw2x 10:40 Jw2x 10:45 Jw2x	FINALS B 9:40 BW4- 9:45 BM4- 9:50 BM4x 9:55 BM1k 10:00 BM1k 10:05 BW1k 10:10 BM2- 10:15 Jw2x 10:20 Jw2x 10:25 Jw2x 10:30 Jw2x 10:35 Jw2x 10:40 Jw2x 10:45 Jw2x	9:50 BW4- 9:55 BM4- 10:00 BLW2x 10:05 BM4x 10:10 BLM2x 10:15 BM1k 10:20 BW1k 10:25 Jw2x 10:30 Jw2x 10:35 Jw2x 10:40 Jw2x 10:45 Jw2x 10:50 Jw2x 10:55 Jw2x 11:00 Jw2x	FINALS D 9:45 LW1k 9:50 LW1k 9:55 LW1k 10:00 LW1k 10:05 LW1k 10:10 LW1k 10:15 LW1k 10:20 LW1k 10:25 LW1k 10:30 LW1k 10:35 LW1k 10:40 LW1k 10:45 LW1k 10:50 LW1k 10:55 LW1k 11:00 LW1k	9:40 JM4x 9:45 Jw2x 9:50 JM2x 9:55 JM1k 10:00 Jw1k 10:05 Jw1k 10:10 Jw1k 10:15 Jw1k 10:20 Jw1k 10:25 Jw1k 10:30 Jw1k 10:35 Jw1k 10:40 Jw1k 10:45 Jw1k 10:50 Jw1k 10:55 Jw1k 11:00 Jw1k
15:00 Team Managers' Meeting DRAW	10:47 BM4-	10:47 LW1k 10:52 LW1k 10:57 LW1k	10:35-11:35 2nd Practice Starts (U19 TBC)	10:35-11:35 2nd Practice Starts (U19 TBC)	10:35-11:35 2nd Practice Starts (U19 TBC)	10:35-11:35 2nd Practice Starts (U19 TBC)	10:35-11:35 2nd Practice Starts (U19 TBC)	10:35-11:35 2nd Practice Starts (U19 TBC)
18:00 Opening Ceremony	11:02-14:15 Training	11:12-14:15 Training	12:00 U19 Spares Races	12:00 U19 Spares Races	12:00 U19 Spares Races	12:00 U19 Spares Races	12:00 U19 Spares Races	12:00 U19 Spares Races
	HEATS 14:30 LM1k 14:35 LM1k 14:40 LM1k 14:45 LM1k 14:52 BLW2x 14:57 BLW2x 15:02 BM4x 15:07 BM4x 15:12 BM4x 15:17 BLM2x 15:22 BLM2x 15:29 BM1k 15:34 BM1k 15:39 BM1k 15:44 BM1k 15:49 BW1k 15:54 BW1k 15:59 BW1k 16:06 BW8+ 16:11 BW8+ 16:16 'BM8+	REPS 14:30 LM1k 14:35 LM1k 14:40 LM1k 14:45 LM1k 14:52 LM1k 14:57 BLW1k 15:02 BLW1k 15:07 BLM1k 15:12 BW2x 15:17 BM2x 15:22 BW4- 15:27 BM4- 15:32 BLM2x 15:37 BM4x 15:42 BM1k 15:47 BM1k 15:52 BM1k 15:57 BM1k 16:02 BW1k 16:07 BW1k 16:12 BW8+	13:00-19:00 Training	11:37-14:15 Training	11:37-14:15 Training	11:29-13:45 Training	11:24-14:15 Training	11:24-14:15 Training
	16:31-19:00 Training	16:27-19:00 Training	14:00-15:00 Coaches Meeting	Q-FINALS 14:30 LW1k 14:35 LW1k 14:40 LW1k 14:45 LW1k 14:52 BLM1k 14:57 BLM1k 15:02 BM2x 15:07 BM2x 15:12 BM4x 15:17 BW4- 15:22 BM4- 15:27 BM4x 15:32 BM4x 15:37 BM4x 15:42 BM1k 15:47 BM1k 15:52 BM1k 15:57 BM1k 16:02 BM2- 16:07 BM2-	16:22-19:00 Training	FINALS A 15:30 BW4+ 15:41 BM4+ 15:56 BLM2- 16:12 BLW4x 16:28 BLM4x 16:43 BW2- 16:59 BM2- 17:14 BW4x	17:23-19:00 Training	19:30 Nations Dinner

今回は3つの大会が一緒に行われるため、事前ミーティングでは異なる大会が一緒に行われることと、国名を正しく間違えずに呼ぶことが求められました。また、5分間隔のレースのため、審判の配置、移動、ゾーン審判とダイナミックの切り替えなど、時間に注意して行動することも言われました。

## 【参加 ITO 審判員】

**President of Jury** : Kristopher GRUDT (USA)

**Jury** : 20 名

Geoffrey NORTHAM (AUS), Jean-Pierre FOLLET (BEL), Maria-Eugenia GRUBER (BRA), Timothy HENDERSON (CAN), Duro LJUBIC (CRO), Flemming GAUR (DEN), URIGAIN Uxue ZABALA (ESP), Robert VÄLI (EST), Philip SCHMOLLING (GER), George TSERNOGLOU (GRE), Kanako YAMAZAKI (JPN), Sevara GANIYEVA (KAZ), Tadas SUDNICKAS (LTU), Els LINDEBOOM (NED), José Antonio TORD (PER), Carol MUIRHEAD (RSA), Darko GOLOB (SLO), Etem DERMAN (TUR), Laura KUNKEMUELLER (USA), Gary BAIN (GBR)

今回はいつもよりも多い 20 名の ITO が各国から集まり、旧知の審判員や新しい出会いなど、今回も様々な出会いがありました。また、まだコロナ禍の 2021 年、ポルトガルで PCR 検査などの書類を作成するために色々手を尽くしてくださった WR スタッフの Christine Jacobson にも再会を果たすことができました。

### 【悪天候によるレースプログラムの変更】

前回の U19 選手権（パリ）同様、悪天候のため 8 月 19 日はレースおよび練習は行わず、8 月 20 日、21 日に行われることが周知されました。20 日になっても天候は回復せず、9 時 30 分スタートの第 1 レースは 1 時間 30 分遅れの 11 時スタートとなることが決まりました。

### 【監視】 8/18PM、8/23PM

このコースは出艇桟橋、帰艇桟橋で別々の桟橋があるわけではなく、横に長い一本桟橋の左右を出艇と帰艇で使い分けていました。そのため、ひとたびレースが始まると桟橋付近は出るクルー、帰るクルーでごった返していました。カナダのエイトが見たところ分割されていない長い艇でしたが、特に桟橋で話題に上がることもなく、レースに出艇していました。



長い 1 本の桟橋（右が出艇、左が帰艇）



カナダ女子エイトの艇

出艇監視ではステッカーの貼り間違いはほとんどありませんでしたが、多かったのが広告表示ルール違反でした。面白かったのは Wintech の COBRA というボートですが、デッキ部分に表示できるサイズは 800 cm<sup>2</sup> であるのに対し、明らかにサイズが大きいものでした。監視にいた WR 審判委員会メンバーの Gabriel に確認をしたところ、これに関する指導は、「コブラの目を隠せ」でした。マークとしては明らかに大きいですが、目を隠せばこれは「ストライプ」になる。という判断でした。これはなるほど！と思いました。



COBRA のボート





## 2024 World Rowing Senior, U23 and U19 Championships



リガーの表示



艇内部の表示

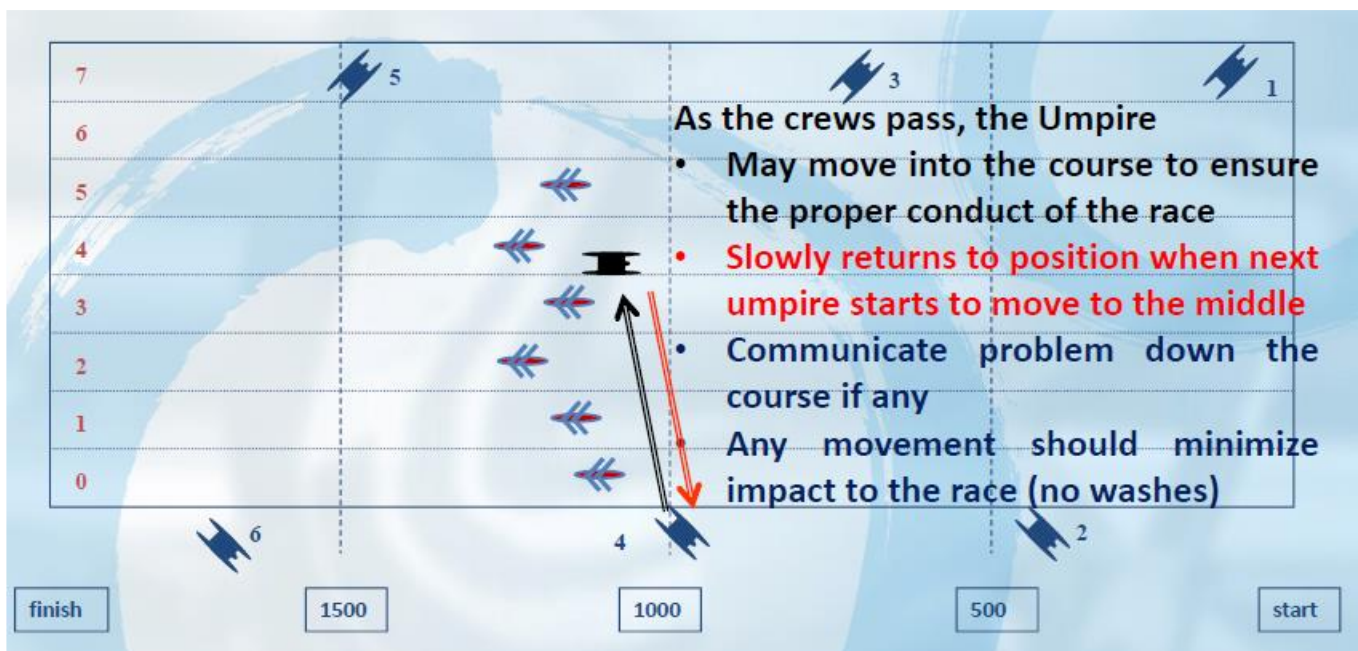
その他にもリガーに表示できるサイズは 16 cm<sup>2</sup>と決まっているところ、そのサイズを超える表示があり、これもテープで隠して出艇させました。微妙なサイズだったため「前日には問題無かった」とクルーから言われましたが、メジャーで計ったところやはりオーバーしていました。また、ボート内部の表示は認められていないため、これもテープで隠しました。この他に靴下の不統一、ヒールロープがゆるいなど、出艇桟橋では混雑する中に修正も多く、バタバタした部署でした。

選手計量、舵手計量は軽量級選手の計量、COX 計量を行います。海外の大会では COX が DW を作る人が多いですが、今回どう考えても重すぎる DW を持ってきた COX がおり、テープでぐるぐる巻きにしているため、軽くすることはできなかったのですが、規則上は 55kg 以上であれば良く、ぴったりにする必要は無いので、たとえ 58kg になったとしてもそれは問題無いことだと思い、そのまま合格としました。

### 【主審】

この大会ではA決勝以外、ゾーン審判で行います。ゾーン審判とは1つのレースを1つの審判艇が追航するのではなく、6艇の審判艇がそれぞれゾーンを決めて、レースが通り過ぎたら中央レーンに進み、次の審判艇が出るまでレースを注視します。

ゾーン審判では、スタート直後に審判艇が追航することができないため、発艇員は最初の主審も兼ねています。最後のゾーン審判はフィニッシュラインで白旗を上げる役目も担います。



特に問題が無ければ、この形で進みますが、5分間隔の2000Mレースをゾーン審判で行うので、中央に出た時にはすでに後方からレースが迫っており、出たり入ったりのあわたたしい審判になりました。

セントキャサリンズは穏やかな良いコースでしたが水草が多く、ボランティアに聞いたところ大会前に藻刈りをしたそうで、コース外に藻がたまっていました。コース上あちらこちらには「コハクチョウ」が泳いで

いました。体長 1m ほどのコハクチョウが戸田のカモよろしく優雅にコースを横切る様は、審判艇から見ていてもぶつかるのではないかと感じてしまいます。現にぶつかった事もあったようで、シングルスカルなら沈してしまうのではと思いました。



コース内を泳ぐコハクチョウ

途中ゾーン審判をしている 500M 地点で台湾 (Chinese Taipei) の女子シングルスカルが沈をして、救助を要請しました。事前のミーティングで審判長から救助を呼ぶ際には「Rescue, Rescue, Rescue!」と第一声を無線で発することを言われており、即座にその通りに無線を入れ、場所とレーン、クルーを知らせたため、救助もスムーズに行きました。

一つ認識違いだったのが、救助された後、審判長から「彼女は漕いで帰るのか、漕がないのか」を聞かれたことです。選手も動揺しており、救助後既にレスキューボートに乗って行ってしまったため、その旨伝えたところ、後のミーティングで審判長から「選手が沈した場合、救助されていても再乗艇し漕ぎ続ければ順位が着く」という説明を受けました。日本では沈した場合は自力で再乗艇しない場合は基本 DNF となりますが、WR の考えでは「救助されたことによって何のアドバンテージも受けていないので、助けを借りて再乗艇した場合でも漕ぎ続ければ順位が着く」ということだそうです。国によって、大会によって認識が違う、WR の大会では、次回からは選手が動揺していても救助後、再乗艇の確認をしなくてはと思いました。

### 【発艇】 8/20AM、8/23AM

発艇はスターターとアシスタントスターターに加え、NTO とチームで行います。スタートから 250m あたりのエリアに、NTO が次のスタートのクルーを呼び集めてくれたため、2000m 5 分間隔でほぼ「ファイブミニッツ」が言えないレースですが、順調に進めることができました。改めて ITO、NTO の連携が重要だと感じました。



スタートシステム



スタートタワー

練習途中でチリのクルーのバウナンバーが落ちたようで、スタートにある予備のバウナンバーを付け替えるため 2 分レースが遅れましたが、5 分間隔のレースでもこの連携により午前中に回復することができました。今回の世界選手権では PR3 のレースがあったため、アテンションの赤ランプの後には「Red Light」と発しな



ければなりません。これも忘れないように組み合わせ表に赤字で書き入れていたので、忘れずに発することができました。

【線審】 8/22AM

線審は水上の線審小屋から行いました。今回のシステムは「ブーツシステム」ではないため、ブーツで発する「Line is Clear」は言うことは無く、白ライトが着いたときにスターターとの直通無線で「White Light」と伝えるのみでした。順調に進んでいましたが、発艇からの電話が鳴り、出るなり NTO の Scot から英語でバーツと話され、バウナンバーとレーン5、そしてウーバーに確認してほしいと言われました。私の脳内ではその瞬間ウーバーイーツ？タクシーのウーバー？しか浮かばず、聞き返すと「Thank you」と電話を切られてしまったので、恥を忍んでアライナーNTO の Robert に再確認してほしいと伝えると、どうやら Uber は線審小屋の外にいたスイスタイミングの人の名前で、彼に 5レーンにあるバウナンバーの予備を確認してもらってほしいということでした。これがネイティブイングリッシュの洗礼か!?と思うとともに、チームである以上、NTO だけではなくタイムチームの名前もちゃんと聞いておこうと思いました。



アライナー側モニター



線審長側モニター

から英語でバーツと話され、バウナンバーとレーン5、そしてウーバーに確認してほしいと言われました。私の脳内ではその瞬間ウーバーイーツ？タクシーのウーバー？しか浮かばず、聞き返すと「Thank you」と電話を切られてしまったので、恥を忍んでアライナーNTO の Robert に再確認してほしいと伝えると、どうやら Uber は線審小屋の外にいたスイスタイミングの人の名前で、彼に 5レーンにあるバウナンバーの予備を確認してもらってほしいということでした。これがネイティブイングリッシュの洗礼か!?と思うとともに、チームである以上、NTO だけではなくタイムチームの名前もちゃんと聞いておこうと思いました。

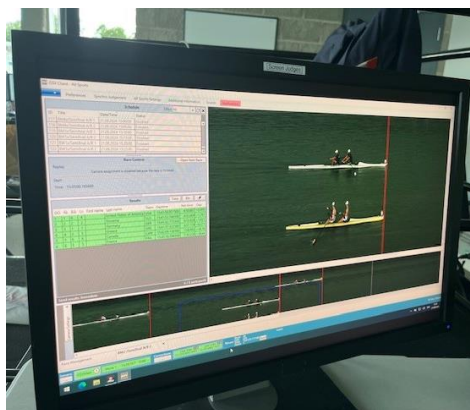
【判定】 8/21PM、8/25AM

今回は 2 回判定を経験できましたが、何回か接戦のレースがありました。

判定員を務めた BM2-の準決勝では 2 位の SLO が 6:52.60、3 位の GER が 6:52.62 と 0.02 秒差、JW4XB 決勝では、3 位の USA が 7:04.02、4 位の NZL が 7:04.06 と 0.04 秒差を間違えずにコールできたのでドキドキしながらも良い経験になったレースでした。写真を見ていただけるとわかるようにリザルトシートには出ませんが、フォトフィニッシュ上では千分の一秒で差がついています。



フィニッシュライン



写真判定システム

Results				
Time	Bib			
Last name	Team	Daytime	Net time	Gap
	United States of America	USA	15:41:50.951500	6:50.807 +0.000
	Slovenia	SLO	15:41:52.748500	6:52.604 +1.797
	Germany	GER	15:41:52.772500	6:52.628 +1.821
	Greece	GRE	15:41:57.322500	6:57.178 +6.373
	Canada	CAN	15:42:09.136500	7:08.992 +18.18
	France	FRA	15:42:10.394500	7:10.250 +19.44

SLO 6:52.604、GER 6:52.628

僅差のレースはこれだけではありませんでした。

私が担当したレースではありませんが、JW4X の A 決勝レースで、何とリザルトシート上同タイムであるに

## 2024 World Rowing Senior, U23 and U19 Championships

もかかわらず、順位が着いたレースがありました。

253	12:57	JW4x	(41)	Final A	ITA	GBR	GER	POL	CZE	AUS
					6:56.14	6:57.49	7:00.41	7:00.41	7:05.91	7:17.77
							↑	↑		

同じ 7:00.41 のタイムでありながら、記録は GER が 3 位、POL が 4 位で一方は銅メダル、もう一方はメダルを逃すという結果になりました。

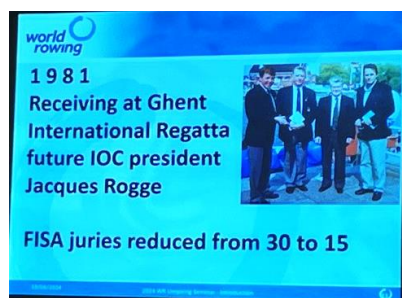
当然 POL からのプロテストはあったようですが、先述同様、リザルトシート上に出ない部分で差があったということで、GER は銅メダルを獲得しました。

### 【Patrick Rombaut 氏】

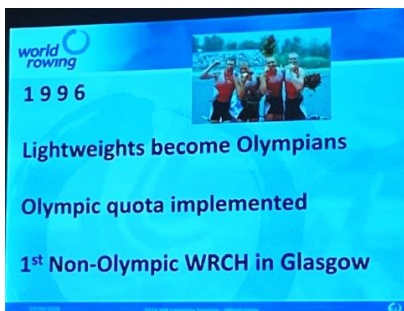
悪天候により 19 日のレースがキャンセルになったため、2 回に分けて夕方行われる予定だったセミナーは 1 日で全過程 6 時間を行うというかなりハードなスケジュールになりました。

WR 審判委員会のメンバー 4 人により WR 概要、主審、監視、発艇、判定などの講義がありましたが、中でも印象的だったのは、今シーズンで引退される WR 審判委員長の Patrick Rombaut 氏の講義でした。

セミナーの「結び」として登場した彼の講義は、WR の歴史に都度マイルストーンを交えて、時には彼自身のローイング歴史も交えて説明してくれました。



Patrick Rombaut 氏



WR 創立からの歴史をつづったスライド

1981 年には、WR 審判が 15 人にまで減ってしまったこと、軽量級がオリンピック種目になったのは 1996 年など知らなかった色々な情報が盛り込まれており、彼の話も面白く、2005 年のスライドでは「佳奈子は知ってるよね」と言ってくれたり、とても温かいプレゼンでした。

思えば私が国際審判試験を受けた時、試験官は Patrick と Fabio でした。Fabio は昨年引退され、今年は Patrick が引退されることになり、寂しさを感じています。

最後に彼の講義を聴くことができたことはとても光栄でした。



### 【親しみやすいローイング】

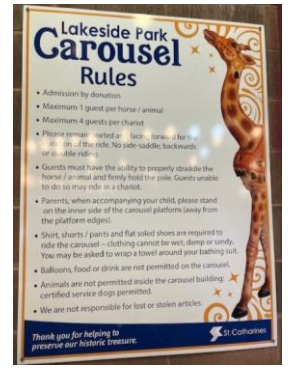
ヘンリーロイヤルコースのスタート地点には公園があり、世界選手権中に「Mega Worlds Fan Festival」というイベントが開催されていました。この公園には小さな観覧車があり、少し歩くと今回の大会ロゴにあるメリーゴーランドがあり、普段から人々が楽しんでいる公園のようですが、ローイングに関するイベントも行われていました。



公園の観覧車



公園のカルーセル（メリーゴーランド）



面白かったのは公園の真ん中にオールと艇が固定されたクォドルプルが展示されており、誰でもこのクォドルプルに乗って記念撮影ができるというフォトスポットでした。これは艇とオールがあれば日本でもできるのではないかと思います。

もう一つは EXR というバーチャルローイングのアプリで、エルゴと漕ぎながら世界各地の様々なコースをバーチャルでローイングできるというものでした。パソコンの画面でボートが進んでいく e-row システムは日本でも使っていますが、自分のアバターがバーチャルコースを漕いでいく様子を目の前で見ることができ、他の人とレースができるこのゲームはこれからの e スポーツの1つとして、楽しめると感じました。



クォードのフォトスポット



バーチャルローイング

### 【さいごに】

3つの大会が一緒になった「メガ・チャンピオンシップ」は過密スケジュールでありながら、スタッフ・ボランティアの協力、何より経験豊富な NTO の協力により驚くほどにスムーズな大会運営でした。

日本は 2019 年に世界ジュニア選手権を開催しましたが、あれからいくつかの世界大会を経験するうちに「ああすれば良かった」「こうすれば良かったのか」と思うことが多々ありました。



## 2024 World Rowing Senior, U23 and U19 Championships

2020 オリンピック・パラリンピックに参加した国際審判は「日本は Strict (厳格) だ。ダメなものはダメだし、バスや電車の時間もちゃんと時間通りに来るしね。」と冗談交じりに言っていましたが、決められたことをきちんと守る Strict な日本だからこそ、コロナ禍でのオリンピック・パラリンピックを開催することができたと思っています。

いつかまた日本でもアジア大会、世界大会を開催することがあるかもしれません。

その時には今までの経験を生かして「コンパクトでサステイナブルな大会」になるために少しでもお役に立てればと思います。

最後に、長めの夏季休暇を認めてくれた勤務先（東京都ローイング協会）、昨年引き続き送り出してくれた家族に心から感謝するとともに、今大会に審判派遣いただきました日本ローイング協会に感謝いたします。ありがとうございました。



参加 ITO と WR 審判委員会メンバー（右端が POJ の Kris 氏）



参加 NTO メンバー